



次

……などということを書くのだ **うふふ** と考えながら合体作業を終え、いざ書こうという段階になって **1ページ足りない** ことに気付いた。ヨツキ氏とTUKA氏が書いてくれた **REAR TYRE** が **2ページ入っていた** のだ。1枚足りない恨めしさはまさに名を出すのも憚られる受付 **あの方** の恨みを追体験してなお足りぬ。そういえば今号、不吉な数字とされる **13** の号だった。かなりな **悪夢** も起こったが読者は **特濃！ 魔道あるき** を待っているからな。それに次号は **寄稿が2本** ある予定。 **多分、大丈夫。**

予

発行が2日にずれ込んでいる 癖にこのページを書こうとしている。それは一種の **背徳行為** ではないかと思わ **ない** でもないのだが **書かずにはいられない** のである。何しろこれで **総ページ数200ページ** になるのである。確かに **魔道を読む** は昔の原稿の使い回しだし **明治隧道project** も地図引用の制約を避けるためという **大義名分** の元に

号

水増しされた 企画ではあるものの、何しろ **200** ページなのだ。ページが200枚もあるのだ。 **驚かずにいられようか！**



告